

2023 年 10 月高等教育自学考试

高级日语(二) 试题

课程代码:00610

1. 请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。
2. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

选择题部分

注意事项:

每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一、单项选择题:本大题共 20 小题,每小题 1 分,共 20 分。在每小题列出的备选项中只有一项是最符合题目要求的,请将其选出。

1. 旅とは偶然の_____で、人生自体もそうであるに違いない。
A 始末 B 結局 C 連続 D 結果
2. 日曜日は大変忙しくて、予定が_____と詰まっている。
A びっしり B ぴったり C くっきり D ぐっすり
3. ほんの冗談のつもりだったのに、これは_____ことになった。
A わかった B しまった C やった D とんだ
4. 新潟交通鉄道線が 1998 年を_____に、廃線になるというニュースが入った。
A はじめに B 限りに C 結びに D しまり
5. 壊れた車の運転手は_____恥ずかしいだろうなあとと思った。
A さぞかし B まるで C たいそう D なんか
6. 物がすべて青白く、空気の肌触りも冷え冷えとして、物静かさがかえってなんとなく自分を_____とさせた。
A ふわふわ B だらだら C そわそわ D ちらちら
7. 雪は彼を覆い隠す_____、どんどん彼を白く染めてゆく。
A そうに B ように C とおりに D かのよう
8. その気が全くないのに、殺してしまったのは自分に妙に嫌な_____。
A 気についた B 気がした C 気をさした D 気をおこした
9. 知らぬふりで薬包みにして渡せば、死にゆく父・夫に、せめて熱さましは飲ませたと、家族の心情はのちのちまで、どれほど救われたこと_____。
A だろう B だろうが C だろうに D だろうで

10. この合宿は命に_____合宿として、師友熟の合宿プログラムでも一番人気の高い合宿です。
- A 火をつける B 気をおこす C 肘を張る D 顔がゆがむ
11. 生意気を言っても、_____子供だ。
- A しょせん B ために C ためで D とても
12. そこに展示されているものは、見事な手作りのもので、決して_____などいない。
- A 足を洗って B 気を付けて C 耳に挟んで D 手を抜いて
13. その口ぶり_____、彼はもうそのことを知っているだろう。
- A かくして B まして C からして D はたして
14. しかし、どうしてもこの天文台に登りたいという一念は幼い胸に巢を_____。
- A つくった B くった C くんた D むすんだ
15. 草八は柳好を尻目にかけて勝手な落語をしゃべり_____。
- A まいた B まくった C めいた D めいた
16. ハンピには数多くの遺跡がある。その多くは見る_____もなく破壊されている。
- A 姿 B 価値 C 影 D 跡
17. 妻の死により深い悔恨に_____。
- A しまう B おそれる C おそう D おそわれる
18. 君が落としていった言葉の一つ一つを拾い上げ、_____ように頬を寄せた。
- A 愛する B 惜しむ C 可愛がる D いとしむ
19. 結婚式を_____花のアイテムの数々をご紹介します。
- A 出演する B 出場する C 演出する D 展示する
20. 誰でもものの_____嘘をついてしまった経験が一度はあると思う。
- A せいに B ためで C だから D はずみで

二、单项选择题:本大题共5小题,每小题2分,共10分。在每小题列出的备选项中只有一项是最符合题目要求的,请将其选出。

21. 毎日の生活が維持できる、生計を立てることができる。
- A ためを張る B 役に立つ C ひと肌ぬぐ D 暮らしがたつ
22. 度を越えて入りこむこと。
- A 深みにはまる B 苦になる C ねんごろになる D ぱっとしない
23. 自分の好みや望みにあう。心にかなう。
- A 気をおこす B 巢をくう C 気に向くままに D 膝を進める
24. 言い出したことをあくまで主張し続ける。
- A ひじをだす B ひじを張る C ためをはる D ためになる
25. ある物事が負担に思われる。重荷に感じられる。
- A 顔をしかめる B ひと肌ぬぐ C 苦になる D 深みにはまる

三、阅读理解题：本大题共 10 小题，每小题 2 分，共 20 分。在每小题列出的备选项中只有一项是最合题目要求的，请将其选出。

文章 1

いままで、盛んに「学力」という言葉を使ってきたが、「学力」とは何であろうか。

私たちが身近に使っている「学力」という言葉は驚くなかれ、外国人に翻訳できないのである。それは学習してどこまで到達したかという、学んだ結果を示す「学力」の他に、学ぶ力という意味での「学力」があり、この両者が一体となって、わが国では「学力」という言葉を形作ってきたからである。したがって、ひとくちに「学力低下」という時に、どちらの学力が低下しているのかをきちんとしておかないと、誤解が生じることになる。大学関係者の多くが指摘する「学力低下」は単なる知識の量が足りないという学んだ成果を示す「学力」の低下ではない。どうして学んだらよいかわからない、マニュアル通りにしかできない、という学ぶ力としての「学力」の大幅な低下を問題として、①現状を憂えているのである。

26. ①「現状」とあるが、学力についての現状の問題とあっているものはどれか。

- A 知識の量が少ない学生が多い
- B 学び方が分からない学生が多い
- C 学生は「学力」の意味を誤解している
- D 大学関係者は「学力」の意味を誤解している。

27. 筆者の考える「学力」とはなにか。

- A 学習して身につけた知識の量
- B 外国語学習における知識と学ぶ力
- C 学んだ成果と学ぶ力とを合わせたもの
- D どのようにして学んだらいいかを考える力

文章 2

電話とは時々、ひどくいまいましいものである。

その憎たらしさはひとえにその便利さのせいである——したがって、私の家にも電話がある。

ちょっとした用件なら（いや、べつだん用件などなくても）手紙より電話のほうが手取りばやい。遠距離でなければ、はるかに安い。その上、切手の買い置きがあったはずだけれど、などとやたらにいろいろな引出しをかきまわさなくてもいいし、雨が降っていようがいまいが、ポストまで出かかなくてもいい。

が、何にもまして電話の便利な点は、相手の気分だの都合などを無視して、ブザー一つで強引に電話口へ呼びかけ、有無を言わず受け答えを強要することができるところにある——それはもう、①便利を越えて痛快と言ってもいい——。

その痛快さを支えるために、電話を掛けられたほうが少々不幸になることもあるのは、②「便利さ」というものの配分に関する必然性の問題なのかもしれない。実際、風呂や便所へ、入ってしまった後でかかってきた電話なら堂々と無視できるけれど、入る寸前、つまりほとんど入る態勢になったところを不意打ちに来る電話は、あなたをかなり不幸せにしかねない。（中略）

たまたま家族がみんな出かけてしまった日曜日など、なぜかひとりで留守番というかつ

このとき、電話の鳴るたびにのこのこ立っていくのがおっくうで——だいたい私あての電話は少ないのだ——断固無視してやろうと思っても、リーンリーンリーンと鳴り続けるあの音に対して居留守を使う^(注1)にはよほどの③図太い神経がいるらしく、試しに意地を張ってみると、結局、いちいち席を立つよりも、無視しとおすほうが④よほど心の疲れは大きいのであった。

にもかかわらず、(a)になってみれば、いながら蕎麦屋でも寿司屋でも試したことはないが、警察にでも出前^(注2)を注文することができるというのは、実際愉快、痛快、喝采に値する。いざという時110番のかわりに「助けて！すぐ来てください、警察御中」と手紙を出す（もちろんその前に葉書や切手を探す、それから速達料金はいくらだったか思い出す……）という手間を思えば、どう考えたって、電話を呪うことなど、⑤とんでもない忘恩というものである。

無論、(b)にしてみれば、郵便のほうが概して控えめで、好感が持てる。（中略）急用でもあれば、帰ってから開封することにして、テーブルの上に放り出したまま、出かけてしまってもいい。手紙は奥ゆかしく、こちらが返事をするまでけたたましい音を立て続けたりはしない。

手紙が面倒なのは、さよう、自分が(c)にまわった時の事である。電話不精という言葉はまだないけれど（個人的に私にはあるのだが）、筆不精という悩みは確実に存在する。と、ここでちょっと⑥不安になって、ひよっとすると、不精ではなく無精だったかしら……と、思いまどう^(注3)ところが、すなわち手紙を書くのはくたびれるという理由の一つに相違ない。本当なのだ。電話なら、不意を狙われた相手がまごついているところへ、こちらはいい状態にあるから好調にまくしたてればいいし、主語と述語が噛み合っていようがいまいが、間違っって自分のほうに敬語をつけようが、どうせ小用をこらえて^(注4)曇った状態にある相手は気が付くまい……と、たかをくくる^(注5)こともできる。

とすると、もはや結論は出たようなもので、その短絡的結論によれば、(7)に限るのである。

(注1) 居留守を使う：本当はいるのに、いないふりをする事

(注2) 出前：料理を、注文した人の家まで届ける事

(注3) 思いまどう：迷う

(注4) 小用をこらえる：トイレに行くのを我慢する

(注5) たかをくくる：大したことはないと思う

28. ①「便利を越えて痛快」という言い方で筆者は何を言いたいのか。

- A 便利だということは常に痛快だということでもある。
- B 便利さというものは痛快さを越えたところにある。
- C 便利であることもあれば、痛快であることもある。
- D 便利だという言葉では表現できない痛快さがある。

29. ②「便利さ」というものの配分」とはここでどのようなことか。

- A 一方が便利だと感じた時は、他方は不便だと感じる事。
- B 一方が便利だと感じれば、他方もまた便利だと感じる事。
- C 一方が便利だと感じない場合は、他方もまた便利だと感じない事。
- D 一方が便利だと感じてても、他方はどう感じるかわからない事。

30. ③「図太い神経がいる」とはここではどのようなことか。
- A 電話の音がどんなに大きくても驚かないこと
 B 鳴っている電話を無視して平気であること
 C 日曜日に一人で留守番ができること
 D 電話に出るのをおっくうがらないこと
31. ④「よほど心の疲れは大きいのであった」とあるが、それはなぜか。
- A 電話が鳴ると出なくてはいけないとってしまうから
 B 日曜日に一人で留守番をしなくてはいけないから
 C 期待して出ても自分に来た電話ではないことが多いから
 D 電話が鳴るたびにいちいち立っていくのがおっくうだから
32. (a-c) に入る言葉の組み合わせとして適当なものはどれか。
- A a かける側 b 書く側 c 受け取る立場
 B a かける側 b 受け取る立場 c 書く側
 C a 受け取る立場 b かける側 c 書く側
 D a 書く側 b かける側 c 受け取る立場
33. ⑤「とんでもない忘恩」とはどういうことか。
- A 電話で蕎麦屋や寿司屋に出前が頼めることをありがたいと思うこと
 B 風呂や便所に入っている時に来た電話を無視すること
 C こちらから電話をかける時のありがたさを忘れてのこと
 D いつも世話になっている人に手紙を出して迷惑をかけること
34. ⑥「不安になって」とあるが、何が不安なのか。
- A 電話不精という言葉は本当にまだないのかということ
 B 自分は本当は筆不精ではないのかもしれないということ
 C 「ぶしょう」は漢字で本当に「不精」と書くのかということ
 D 確実にあるのは筆不精という悩みだと本当に言えるのかということ
35. (⑦) に入る言い方はどれか。
- A 発信は電話、受信は手紙 B 発信は手紙、受信は電話
 C 発信も受信もともに電話 D 発信も受信もともに手紙

非选择题部分

注意事項:

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

四、请给下列划线的汉字标注假名:本大题共 10 小题,每小题 1 分,共 10 分。

36. 草木染めはそんな井泉水で染め、晒されていたのだ。
37. 途中、木曾路を回ってきたら、思いかげず吹雪に遭いました。
38. 当時の新道には生活があった。豆腐屋があり、ガラス屋が、お惣菜屋が、ビリヤード屋が、そして主人が会社勤めの普通の家があった。

39. その時、病気で女学校を休んでいた筆者は爆心地から約9キロ離れた疎開先の今井病院にいた。
40. かつて大会社の社長夫人や医師夫人や弁護士夫人に憧れていた人は、家元夫人や老舗の若女将といった和風セレブに憧れるようになる。
41. ヤドカリの健康な走りに、生きることへの迷うことなき逃走に、僕は少し羨望の思いを持っていたのかもしれない。
42. あひるは頓狂な顔をして首を伸ばしたまま、鳴きながら、せわしく足を動かして上流のほうへ泳いでいった。
43. 初めから終わりまで道に迷いどおしに迷って、無用な労力を浪費するばかりです。
44. 京都の観光客は老若男女を問わないわけです。
45. 橋の上に立って、自転車や空き缶が投げ込まれている川を見ていると、苛立ちやすく退廃した現代そのものが見えてくる。

五、请将下列划线的片假名改为汉字;本大题共10小题,每小题1分,共10分。

46. 正太郎くんが昔の友達から寸借サギをして歩いている噂を何度も耳にしていた。
47. 東京という街の貪欲さが、裏を裏のままホウツておいてくれないということもできましょう。
48. 「私とは違う人」とキイな存在としてみないのは東京も京都も同じです。
49. そのころ山里の人々の活動も始まっていて、自然が生命活動を閉じる晩秋に山里はセイジャクを迎える。
50. 確かに、そこに展示されているものは見事な手作りのイッピンばかりだった。
51. もしかすると、こんな暮らし方を、文明の発達度が低いアカシというのかもしれない。
52. 瞬間に病院の周囲はムザンに傷ついた人々で埋め尽くされていった。
53. ブキヨウに体を振りながら歩く形が思われた。
54. 手仕事をめぐるこのようなトウサク状況を生みさしている責任はすでに変わってしまっている現実にある。
55. それでさんざんに調べた最後には、賽でも投げると同じような偶然なキエンによって目的地をどうにか決めるほかはない。

六、日译汉;本大题共5小题,每小题3分,共15分。

56. 変化の激しい日本に戻った当初の私が、うろたえさせられることの多かった中で、些事ながら今も忘れないのは、年の瀬で雑踏する東京の街を歩いていて、食品売り場で「竹つき餅」と大書したビラが目に入った時の、いぶかしさの混じった驚きの気持ちだった。
57. 夕暮れの迫った前庭に立ちみると、さっきまで人々がひしめいていた部屋は空洞のようにガランとして、異臭だけが残っていた。
58. 中村畳屋から、私は外堀通りを市ヶ谷へ向かった。金網越しに野球場を見ると、木枯らしに吹き上げられた砂煙がグラウンドを走り回っている。振り返って西を見ると、大会社の大きなビルが野球場に覆いかぶさるように立っていた。

59. 僕の体に与えられた様々な出来事が、体を狂わしていく。しかし人間の体は狂っているなりにそれでも生きようとする自然の力が働いて、体の中に錘を作り骨を曲げて、生きるためのバランスをとり続けていくのである。屈折を重ねながら、どんなにみじめな状態でも人の体は生きていこうとする。
60. だんだん薄暗くなってきた。いつまで行っても、先の角はあった。もうここで引き返そうと思った。自分は何気なくわきの流れを見た。向こう側の斜めに水から出ている半畳敷きほどの石に黒い小さいものがいた。いもりだ。まだぬれていて、それはいい色をしていた。

七、汉译日：本大题共 5 小题，每小题 3 分，共 15 分。

61. 当我想到，到了东京车站是跟他说分手呢，还是不分手，于是我在电车中又痛哭了一场。
(動詞連用形+どおしに+同一動詞)
62. 总觉得一周伊始的星期一下雨的日子特别多。(気がしてならない)
63. 也许你会觉得在寒冷的室外玩那么长时间肯定会很冷。不过并不是在寒冷的地方傻呆着不动。(さぞかし…だろう/かもしれない)
64. 就像吃饭一样，转眼间就杀了，一点儿也不费劲。(でもするように)
65. 我一边看着照片，一边试着回想它往昔的面貌，而如今已是面目全非。(見る影もない)